

2014 年度第 1 回 長崎大学経済学部ファカルティセミナー

2014 年度第 1 回長崎大学経済学部ファカルティセミナーを以下の要領で行います。教職員、大学院生、学生の参加をお待ちしています。

日 時：2014 年 4 月 30 日（水） 14:30～16:00

場所：東南アジア研究所 1 階 ファカルティセミナー室

報告者：土橋 力也（長崎大学経済学部）

報告タイトル：「先行者の利益」に関するシステマティック・アセスメント

要旨：

「市場への早期参入者は高い利益を得られるのか」という問題について、戦略論やマーケティングの研究者は多くの研究を積み重ねてきた。しかし、豊富な理論的・実証的研究がありながらも、「先行者の利益」が本当に存在するかどうかについて、合意が形成されていないのが現状である。

そこで本研究では、先行者の利益に関する実証研究についてシステマティック・レビューを実施し、先行者の利益が存在しているかどうかを分析する。システマティック・レビューとは、従来の記述的レビューとは異なり、レビューする論文を体系的に抽出することである。これにより、過去の記述的レビューが抱えていた問題であるサンプリングバイアスを排除することができる（Chalmers and Altman, 1995; Tranfield et al., 2003）。我々は、システマティック・レビューを実施した先行研究（David and Han, 2004; Newbert, 2007）のプロトコルを参考に、今回の分析対象となる論文を抽出した。そして、261 の統計的テストを含む 31 の論文を分析した。

分析の結果、我々は以下の二つのことを明らかにした。第一に、64.4%の統計的テストが先行者の利益を支持していた。これは、経営戦略に関する主要理論である取引コスト理論（David and Han, 2004）や RBV（Newbert, 2007）よりも高い数値だった。すなわち、「先行者の利益」はこれらの二つの理論よりも一般性の高い理論であると言える。第二に、環境・資源・戦略の 3 つの要素が参入のタイミングの効果をモデレートしていた。このことは、先行者の利益がどのような状況においても生み出されるのものではなく、外部環境や内部環境に依存したコンティンジェントなものであることを示唆している。

ファカルティセミナーでの報告を希望される方は、研究委員会ファカルティセミナー担当者（大倉）までご連絡下さい（メール：okura@nagasaki-u.ac.jp 内線：328）。また外部者による報告も受け付けています。